

新刊のお知らせ文藝春秋の本

<http://www.bunshun.co.jp/>

昭和天皇の声



中路啓太

文藝春秋

「昭和天皇の声」

中路啓太

令和時代だからこそ書けた

「昭和史小説」

2019年8月8日発売予定

定価：1600円＋税

体裁：四六判 情勢カバー装／総頁：256頁

昭和天皇が自ら政治的決定を下したのは「三度」

天皇とは、この国にとっていかなる存在なのか。

国民の想いに戸惑い、悩む、生身の天皇の姿を描いた短編集。

【本書の内容】

二・二六事件の青年将校たちは、天皇のために行動している、との信念のもと蹶起し、鈴木貫太郎らを襲撃した。

ある憲兵は、蹶起軍こそが、反逆者だと憤った。

昭和天皇が、どのような思いを持っているのかを、国民それぞれが夢想し、それを大義名分としてぶつかり合い、昭和という激動の時代が作り上げられてきた。

鈴木貫太郎／西園寺公望／田中義一／田中清玄／永田鉄山／相沢三郎
天皇の声を受け止め、国のために奔走した男たちに降りかかった運命の皮肉とは――。

終戦直後、憲法制定の舞台裏を大胆に描いた『ゴー・ホーム・クイックリー』が永田町で話題に！

【著者紹介】

中路啓太（なかじ・けいた）

一九六八年、東京都生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程を単位取得の上、退学。二〇〇六年、『火ノ児の剣』で第一回小説現代長編新人賞奨励賞を受賞し作家デビュー。他の著書に、『うつけの采配』『己惚れの記』『恥も外聞もなく売名す』『ロンドン狂瀾』などがある。

『もののふ莫迦』が、本屋が選ぶ時代小説大賞2015に選ばれ、注目を集めている作家である。近著に『ゴー・ホーム・クイックリー』『ミネルヴァとマルス 昭和の妖怪・岸信介』がある。

著者インタビューなど、是非ともご高評いただきたく、よろしくお願いたします。

お問合せ先： 文藝春秋 プロモーション部

電話：03-3288-6142

FAX：03-3239-4878

E-mail： pr@bunshun.co.jp